

**A better
working world
starts with you.**

Campus Recruiting Brochure

EY新日本有限責任監査法人



EY新日本有限責任監査法人とは

EY新日本有限責任監査法人（以下、EY新日本）は、全国に拠点を有する監査法人です。

監査および保証業務を中心に、財務に係る一部のアドバイザリーサービスを提供しています。

世界約150の国と地域へ約30万人を擁するプロフェッショナルファームであるEYの日本におけるメンバーファームの一つとして、EY税理士法人、EYストラテジー・アンド・コンサルティング株式会社などのメンバーファームと緊密に連携しながら、日本を取り巻く経済活動の基盤に信頼をもたらし、より良い社会の構築に貢献しています。

主な事業領域

- ▶ 監査・保証業務
- ▶ 企業成長サポート
- ▶ FAAS（財務・会計アドバイザリー）
- ▶ Forensics (Forensic & Integrity Services)
- ▶ 気候変動／サステナビリティ（CCaSS）

Japan 約9,500人 ※EY Japan全メンバー数です。

EY新日本有限責任監査法人
EYストラテジー・アンド・コンサルティング(株)
EY税理士法人
EY弁護士法人 ほか

150カ国以上の国と地域

約310,000人

グローバル総収入：400億米ドル



私たちのパーパス（存在意義）

Building a better working world（より良い社会の構築を目指して）。これがEYのパーパスです。優れた知見や高品質なサービスの提供を通して、資本市場と世界経済における信頼の構築に貢献します。あらゆるステークホルダーに対する約束を果たすためのチームを率いる優れたリーダーを育成していきます。そうすることで、私たちはEYメンバー、クライアント、コミュニティのためにより良い社会の構築を目指して、重要な役割を果たします。

EYは、4つのサービスライン（アシュアランス、コンサルティング、ストラテジー・アンド・トランザクション、税務）が提供する総合的なサービスとセクターに関する深い知識を通して、クライアントの皆さまが新しい機会を活用し、リスクを評価して管理するためのサポートを提供し、社会的責任を果たしながら成長を続けられるよう支援します。

私たちは、より良い社会とはインクルーシブ（包摂的）で持続可能な経済成長が実現されている社会だと考えています。EYのパーパスを実現し、前向きな変化を生み出す一助とするために、私たちのナレッジ、スキル、経験を活用する。そのためにクライアントの皆さまや、より幅広いステークホルダーと協働できることを、私たちは光栄に思っています。

Roles at EY (募集職種)

アドバイザー／ コンサルタント職 (Forensics)

I&Cグループでは企業の会計／品質不正等についての不正調査、海外子会社の不正対策支援、コンプライアンスリスク対応支援、Technologyグループでは、デジタルフォレンジックをコアテクノロジーとして活用し、サイバー攻撃への対応支援、不正調査や会計監査に関連したIT支援、米国民事訴訟におけるeDiscovery (電子証拠の開示手続き) の対応支援などの業務を提供しています。

データ分析エンジニア職

未来の監査「Smart Audit」実現に向け、AI・ブロックチェーンなど先端デジタル技術の応用による次世代監査アプローチやツールの研究・開発を行っています。データサイエンティストや開発エンジニア、公認会計士が協業しながら、会計・財務データ分析ツールやウェブアプリケーションをアジャイルに開発しています。

監査トレーニー職

「監査トレーニー制度」は、監査業務を行いながら公認会計士／USCPA試験の合格を目指す制度です。さまざまな実務経験を通して、会計士としての必要な知識・スキルを身に付け、成長していくことができます。通常業務をサポートするサポーターの選任、試験前の特別休暇制度、専門学校費用の補助などのほか、専門学校と連携しながら、皆さんの合格を法人全体でサポートしていきます。

人材育成プログラム

私たちは、職業的専門家として、高度な専門性、高い倫理観、多様な実務経験を備えたプロフェッショナルの集団でなくてはなりません。これに加え、デジタル化時代に対応して、ITリテラシーの向上を図るとともに人だからこそ可能なプロフェッショナルとしての知見を提供すること、グローバル化時代に対応して、グローバルマインドを備え、海外のネットワークを駆使してグローバルにリーダーシップを発揮することも求められます。EY新日本ではキャリア開発に欠かせない Learning (研修)、Experiences (経験)、Coaching (コーチング) の三つの要素を体系的に位置付けて人材育成を行っています。

Learning

自らのキャリアプランに合わせて自発的に受講できるよう、多彩な研修メニューを用意しています。業務遂行に不可欠な基本スキルを身に付け、専門性の維持・向上を図るための体系的な研修、そしてプロフェッショナルとしての人間力を高めるための研修がその柱です。多くの研修をeラーニング化し、スマートフォンやタブレットといったモバイル端末からも受講可能にしています。また、英語力のさらなる充実を図るための機会を確保し、グローバルにリーダーシップを発揮できる人材の育成を行っています。

Experiences

日常業務におけるOJTに加え、プロフェッショナルとしての成長やキャリア形成の観点でさまざまな制度やプログラムが準備されており、上司やカウンセラーとのコミュニケーションを通じて、一人ひとりのキャリア目標に必要な経験を積み上げていくことができます。

Coaching

カウンセラーからのフィードバックや、業務で一緒になる上司からのアドバイスなど多面的なフィードバックを日常的に行い、業務の質を高めるとともに、プロフェッショナルとしての自律的な成長を促しています。



EY Badges

デジタル化時代に相応しい能力開発を後押しするため、EYの資格認定制度であるEY Badgesを導入しています。データの可視化、データサイエンス、AI、情報戦略などの専門領域ごとにラーニング、ブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナの5つのレベルが設けられています。取得にあたっては、ウェブ研修などによる学習に加え、その専門領域に関わる業務経験などが求められている点が特徴です。



EY Japanでの働き方

ダイバーシティ、エクイティ&インクルーシブネス (DE&I)

プロフェッショナル・ファームであるEY Japanでは、メンバー一人ひとりが財産です。より良い社会の構築を目指していくために、一人ひとりの能力を最大限に引き出し、魅力ある職場づくりを通じて高い成果を上げるチームをつくる必要があります。その前提となるのが、ダイバーシティ、エクイティ&インクルーシブネス (DE&I) です。

LGBT+のメンバーが自分らしく働ける環境づくり

EY Japanでは、LGBT+のメンバーが安心して働ける環境づくりを目指しています。私たちは、EYメンバーの同性パートナーを配偶者と同等と認め、休暇・休職、家族の看護・介護、慶弔金など各種社内規程の適用対象としています。また性適合手術を受ける際に私傷病休暇(有給)の取得を可能としています。その他、差別禁止規程の整備はもちろんのこと、東京レインボープライドなどの啓発イベントへの積極的な参加や、メンバー有志のLGBT+とアライのネットワークUnity Japanへの支援などを行っています。

女性活躍推進

2019年7月、EY新日本有限責任監査法人で四大監査法人初の女性理事長が誕生。2021年7月には常務理事以上の女性が4人となり、四大監査法人で最も多様性の高い陣容で経営の意思決定を行っています。女性や働くパパのワーク・ライフ・バランスを全面的にバックアップし、また一人ひとりの違いを尊重するEY Japanでは、外国人、障がい者、LGBT+の方も活躍しています。

ワークライフマネジメントの推進

EY Japanでは、メンバーに最高の職場環境を提供することにコミットしています。"Flexibility for All"という考えのもと、クライアントの理解を得ながら在宅勤務やモバイルワークなどのリモートワークの環境を整備したり、選択シフト勤務や中抜け勤務などの制度を導入して、メンバーのワークとプライベート両方の充実を支援しています。



先進のテクノロジーを駆使する 会計士として。

Y. Ichikawa

データ分析エンジニア職

アシュアランスイノベーション本部
AIラボ 兼 金融事業部 マネージャー
2018年入社

大学院で会計を学んだ後、IT系コンサルティングファームを経て、自らプログラム開発に携われる環境に惹かれてEY新日本に入社。



入社後に踏み出した 公認会計士への道。

K. Shingyouchi

監査トレーニー職

第2事業部 スタッフ
2018年入社

銀行で簿記を学ぶうちに公認会計士の仕事に関心をもつようになり、働きながら試験勉強ができる監査トレーニー制度に魅力を感じてEY新日本に入社。

自らプログラミング

EY新日本の開発した「Dolphin」という監査ツールは、企業が将来重要な虚偽表示などを原因とした有価証券報告書の訂正が生じる可能性を予測する「不正会計予測モデル」の計算を行うものです。私は公認会計士の立場でありつつ、エンジニアとしてもそのプログラミングに携わっています。ユーザーはEY新日本の監査のチーム、つまり仲間のために私が開発・運用を担っているわけであり、監査品質の向上に貢献できていることがやりがいです。若手でもこうしたプログラム開発に携われる点はEY新日本の魅力の一つです。EYインドのIT人材と協力して開発を行うことも刺激となっています。今後もITと会計にまたがる分野で、私ならではの価値発揮を目指していきます。

「Digital Audit」の推進

先進のデジタル技術を活用した監査「Digital Audit」を推進するEY新日本。関連する部署には独自の強みを有する会計士やエンジニアが多数所属しています。監査法人でありながら先進テクノロジーについて学べる環境であり、ちょっとした雑談や立ち話でさえ私にとっては大きな刺激となります。一方、Digital Audit時代に必要とされる人材とは、本質的な部分でこれまでと変わりません。常に主体的に学ぶ姿勢をもち、社会に大きな影響を与える存在であることを自覚して自らを強く律し、人や社会の役に立つ存在でありたいと思いつけられる人材です。技術は後からキャッチアップできます。それよりも監査に関わる人材として求められる志を、大切にしていきたいと思っています。



働きながら学ぶ

EY新日本入社決め手となったのは、監査トレーニー制度です。正職員として安定した働き方を続けながら試験に備えた準備ができることは、大変魅力的でした。入社後は先輩がサポーターとなってアドバイスを送っていただきました。合格するまで残業もなく、定時後そのまま予備校の自習室に行っただけで勉強することも多かったです。周囲は会計士ばかりのため、「合格したい」という大きなモチベーションも生まれました。論形式試験の前には2カ月間の特別休暇制度も利用。絶対に合格して恩返しをしたいと強く思い、より一層勉強を頑張ることができました。無事に合格したとき、職場の先輩たちが自分のことのように喜んでくださったのは本当に嬉しかったです。

業務の幅を広げたい

10人前後が組織横断的に一つのチームとなり、コミュニケーションを深めていくのがコンサルティングファミリー制度です。担当している仕事のやりがいや悩み、将来のキャリアアップについてなど、部署や年次を超えて話し合うのは大変刺激的ですし、女性の先輩の話はロールモデルとしてとても参考になります。仕事ではさまざまな規模のメーカーに対する監査業務を担当しています。大企業については海外のEYと連携して海外子会社にも目を配る面白さが味わえ、小規模の企業についてはより深く企業を理解することができます。今後はクライアントに対する理解を深めながら、IPO案件やリファーマル業務にも挑戦し、業務の幅を広げたいと考えています。





企業を守るプロとして。

T. Tajima

コンサルタント職

Forensics事業部 シニア
2018年入社

幅広い業界のトップ企業を見る中、大きな影響力ある企業としてEY新日本に惹かれる。面接で現在の上司に出会い「この人と一緒に働きたい」と思い、入社。



デジタルフォレンジックの
専門家として。

H. Kiyokawa

コンサルタント職

Forensics事業部 シニア
2021年入社

法学部卒業後、リーガルテック分野でデジタルフォレンジック業務などを経験。その後、より大きな組織へのステップアップを目指してEY新日本に入社。

企業の意識を変える

クライアントを不正リスクから守ることが私たちForensics事業部メンバーに課せられた使命です。私がアサインされることが多いのは、リスク評価の実施やコンプライアンス・プログラムの改善などを行う「コンプライアンスリスクに係るアドバイザリー業務」と、不正概要の事実確認や類似不正の調査などを実施する「不正調査業務」です。あるクライアントのコンプライアンスリスク評価業務を担当した際、私が説明を重ねるにつれて明らかにクライアントの意識が「このままではまずい」と変わってきたのを実感しました。「意識の変化」は不正防止の第一歩です。不正を未然に防ぐための取組支援に対して感謝の言葉をいただいたときは、とても嬉しく感じます。



若手にも大きな裁量権

EY新日本の最大の魅力は、若いうちから責任のある仕事を任せられ、大きな裁量をもたせてもらえることです。私も2年目にクライアントとのミーティングで主体となって成果物について説明したり、海外EYとのミーティングでファシリテーターを務めたりしました。案件の主担当を任せられることもあります。もちろんクライアントの前では、経験の浅い若手であっても、コンプライアンスに関してはプロフェッショナルであることが求められます。あるパートナーからは「バリュー」「アティテュード」「スキル」「ナレッジ」の4要素のバランスが取れ、自ら熟成させていけることがプロの条件だと教わりました。この言葉を心に留めて、自分を磨いていきます。

不正拡大の防止

企業不正発覚の際、PCやスマホに蓄積されたメールやドキュメントなどの膨大なデジタルデータからエビデンスとなるデータを吸い上げなくてはなりません。このデータ保全と呼ばれる作業を担うのが、私たちデジタルフォレンジックの担当者です。それは例えば、超高層ビルの高さほどにも積み上げられたA4用紙からキーワードの記載された1枚を見つけ出すような作業となります。内部不正の証拠をいち早くキャッチできたことで被害が広がるのを防げた際は、社会貢献度の高さを感じます。私が担当した案件が数カ月後に新聞やテレビなどのメディアで報道されると、「あのときの件か」と世間的にインパクトある業務を担当していることを改めて実感します。



世界の仲間と

EY新日本に入社した理由の一つが、世界各国の拠点とのやりとり際して私の語学力を活かせると感じたことでした。現在の業務においてもデジタルフォレンジック先進国である米国のEYの仲間から気軽にサポートを受けており、グローバルネットワークをもつEY新日本ならではのやりがいを感じます。デジタルフォレンジックは日本ではまだまだなじみの薄い分野ですが、その分、非常に将来性豊かな分野であることは間違いありません。ニーズはさらに高まっていくでしょう。私自身はEYの海外拠点からも学びながら、最新の技術を吸収し、自分を磨いていきたいと考えています。地に足のついた粘り強い仕事を通じて、より良い社会づくりに貢献していきます。

EY People

EY | Building a better working world

EYは、「Building a better working world～より良い社会の構築を目指して」をパーパス（存在意義）としています。クライアント、人々、そして社会のために長期的価値を創出し、資本市場における信頼の構築に貢献します。

150カ国以上に展開するEYのチームは、データとテクノロジーの実現により信頼を提供し、クライアントの成長、変革および事業を支援します。

アシュアランス、コンサルティング、法務、ストラテジー、税務およびトランザクションの全サービスを通して、世界が直面する複雑な問題に対し優れた課題提起 (better question) をすることで、新たな解決策を導きます。

EYとは、アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドのグローバルネットワークであり、単体、もしくは複数のメンバーファームを指し、各メンバーファームは法的に独立した組織です。アーンスト・アンド・ヤング・グローバル・リミテッドは、英国の保証有限責任会社であり、顧客サービスは提供していません。EYによる個人情報の取得・利用の方法や、データ保護に関する法令により個人情報の主体が有する権利については、ey.com/privacyをご確認ください。EYのメンバーファームは、現地の法令により禁止されている場合、法務サービスを提供することはありません。EYについて詳しくは、ey.comをご覧ください。

EY新日本有限責任監査法人について

EY新日本有限責任監査法人は、EYの日本におけるメンバーファームであり、監査および保証業務を中心に、アドバイザリーサービスなどを提供しています。詳しくは ey.com/ja_jp/people/ey-shinnihon-llc をご覧ください。

© 2022 Ernst & Young ShinNihon LLC.
All Rights Reserved.

ED None

本書は一般的な参考情報の提供のみを目的に作成されており、会計、税務およびその他の専門的なアドバイスを行うものではありません。EY新日本有限責任監査法人および他のEYメンバーファームは、皆様が本書を利用したことにより被ったいかなる損害についても、一切の責任を負いません。具体的なアドバイスが必要な場合は、個別に専門家にご相談ください。

ey.com/ja_jp